

目標の柱	2	就労対策・企業支援と戦略的な取り組みによる町民所得の向上
基本目標(政策)	2-3	町民所得の向上を図ります(産業振興)
基本計画(施策)	2-3-2	・林業分野での挑戦

	課	
主管課・係	農林課	林政係・林業振興係
関係課・係	環境水道課	環境衛生係
	建設課	建築営繕係
	農林課	農林土木係
	各総合支所振興課	農林建設係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか? ※対象(誰が、何が)、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①国有林・民有林からの素材生産量を増やす。 ②林業を魅力的な産業として成長させる。 ③林業従事者を増やし、定着させていく。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <p>①木材生産量(素材生産量)の増加 ②南会津産材の製品利用の増加 ③林業経営体数の増加と林業従事者数の増加</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成29年度</th> <th colspan="2">平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 林業経営体数</td> <td>経営体</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>※30</td> </tr> <tr> <td>B 木材生産量</td> <td>m³</td> <td>31,200</td> <td>35,000</td> <td>32,800</td> <td>35,000</td> <td>※40,000</td> </tr> <tr> <td>C 森林組合従事者数</td> <td>人</td> <td>43</td> <td>50</td> <td>43</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>D 林業総生産額</td> <td>百万円</td> <td>354(26年度)</td> <td>450</td> <td>344(27年度)</td> <td>350</td> <td>※360</td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 林業経営体数	経営体	24	25	27	28	※30	B 木材生産量	m ³	31,200	35,000	32,800	35,000	※40,000	C 森林組合従事者数	人	43	50	43	45	50	D 林業総生産額	百万円	354(26年度)	450	344(27年度)	350	※360
	単位			平成29年度	平成30年度		令和元年度	令和2年度																																	
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値																																			
A 林業経営体数	経営体	24	25	27	28	※30																																			
B 木材生産量	m ³	31,200	35,000	32,800	35,000	※40,000																																			
C 森林組合従事者数	人	43	50	43	45	50																																			
D 林業総生産額	百万円	354(26年度)	450	344(27年度)	350	※360																																			
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか?</p>	<p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																																								
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>既存会社の林業分野への進出</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>林産業での雇用創出のため、実績値を上回る目標値を設定</td> </tr> <tr> <td>B ④ 下回った</td> <td>木材価格低下により針葉樹材の減少</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>バイオマス利用での需要拡大が見込まれます。現状値に見込み量を加えた目標値を設定</td> </tr> <tr> <td>C ④ 下回った</td> <td>事業量が増えなかった</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>保育事業だけでなく、伐出への事業進出により雇用増が見込めます。現状値を上回る目標値を設定</td> </tr> <tr> <td>D ⑤ 大きく下回った</td> <td>木材価格(スギ材)が低下したため</td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>バイオマスでの木材利用増加により達成可能であり、現状値を上回る目標値を設定。</td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	既存会社の林業分野への進出	② このままで達成可能	林産業での雇用創出のため、実績値を上回る目標値を設定	B ④ 下回った	木材価格低下により針葉樹材の減少	③ 取組改善で達成可能	バイオマス利用での需要拡大が見込まれます。現状値に見込み量を加えた目標値を設定	C ④ 下回った	事業量が増えなかった	③ 取組改善で達成可能	保育事業だけでなく、伐出への事業進出により雇用増が見込めます。現状値を上回る目標値を設定	D ⑤ 大きく下回った	木材価格(スギ材)が低下したため	③ 取組改善で達成可能	バイオマスでの木材利用増加により達成可能であり、現状値を上回る目標値を設定。																					
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ③ ほぼ目標値どおり	既存会社の林業分野への進出	② このままで達成可能	林産業での雇用創出のため、実績値を上回る目標値を設定																																						
B ④ 下回った	木材価格低下により針葉樹材の減少	③ 取組改善で達成可能	バイオマス利用での需要拡大が見込まれます。現状値に見込み量を加えた目標値を設定																																						
C ④ 下回った	事業量が増えなかった	③ 取組改善で達成可能	保育事業だけでなく、伐出への事業進出により雇用増が見込めます。現状値を上回る目標値を設定																																						
D ⑤ 大きく下回った	木材価格(スギ材)が低下したため	③ 取組改善で達成可能	バイオマスでの木材利用増加により達成可能であり、現状値を上回る目標値を設定。																																						
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか?</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか?箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南会津産木材市の開催 ・森のエネルギー創出事業の補助事業者見直しによる燃料チップ生産への支援 ・公共建築物における木材の利用促進 ・一般住宅で町産木材使用を促すための木造住宅を対象とした補助事業の新設 																																								
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか?</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スギ丸太価格の低下により、南会津産木材市への出材量が少なくなった。 ・民間企業による燃料チップ生産が開始され、町内外に販売された。 ・公共施設への町産材利用及び供給が恒常化してきた。 ・一般住宅での町産材利用が図られた。 																																								

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか?</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <p>・公共施設のみならず一般住宅でも町産木材が使用され、地元消費が確保された。</p>
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か?</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <p>・木材価格の低下により、スギ材の生産量に影響した。</p>

【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は?</p>	<p>木材価格の低迷から、今まで以上に機械化等による生産性向上とコスト削減を進める必要があります。木材の用途について、建築材以外での利用(バイオマス燃料)の流れを構築し、1本の木から、より多くの収入が得られるカスケード利用の仕組み構築が必要です。</p>												
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか? また具体的な対応・対策をどうしますか?</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th>具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>素材生産業者の生産基盤を支援する</td> <td>機械化による効率化及び人材育成への支援</td> </tr> <tr> <td>地元消費の拡大を図る</td> <td>木造住宅への町産材使用への支援</td> </tr> <tr> <td>建築材以外での木材地用、商品開発</td> <td>燃料チップ生産体制の構築。木質ボイラの導入</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	素材生産業者の生産基盤を支援する	機械化による効率化及び人材育成への支援	地元消費の拡大を図る	木造住宅への町産材使用への支援	建築材以外での木材地用、商品開発	燃料チップ生産体制の構築。木質ボイラの導入				
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策												
素材生産業者の生産基盤を支援する	機械化による効率化及び人材育成への支援												
地元消費の拡大を図る	木造住宅への町産材使用への支援												
建築材以外での木材地用、商品開発	燃料チップ生産体制の構築。木質ボイラの導入												

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和元年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			30年度決算額	うち一般財源	元年度予算額	うち一般財源	2年度見込み額	うち一般財源
01	森林整備地域活動支援事業	農林課	目的	森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施を通じた森林整備を推進し、森林の有する多面的機能を発揮させ地域の森林整備を推進する。				
			概要	森林整備を行うためには森林経営計画が必要であり、民有林の経営計画策定のための地域における活動に対する経費を交付した。				
			成果	地域の民有林整備に必要な森林経営計画の策定を実施した。				
		林政係	問題	森林経営計画は、場所選定や所有者の承諾、森林施業計画が必要で、計画策定までは、時間と労力が必要になる。				
			対策	森林簿の整理や町が提供できる情報を活用し、策定をすすめていく。				
			事業費	800	200	480	120	0
02	森林環境交付金事業	農林課	目的	森林の持つ多様な資源を有効に活用することによって、地域の学習の場や癒しの空間及び交流の場を再生し、新たな地域の活力の創出を図る。				
			概要	町内小中学校における森林環境学習や地域住民による森林づくりへの参画を促進する事業へ補助。ヤマザクラ植栽による里山林整備や、町産材を利用した内装木質化を実施。				
			成果	事業展開の中で、地域の人々が関わることで、地域全体に森林整備の重要性や森林の持つ公益的機能の再認識が図られ、森林環境への関心が高まった。				
		林政係	問題	地区で植樹したヤマザクラのその後の育苗管理				
			対策	ヤマザクラ育苗管理のマニュアル等を作成し、地域の実情に適した方法で実施を促す。				
			事業費	54,041	880	25,824	1,409	60,852
03	森のエネルギー創出プロジェクト	農林課	目的	豊富な木材資源の活用と森林整備推進のため、間伐材の活用及び流通システムを構築し、新たに木材のエネルギー利用を回り林業従事者の雇用の場を確保する。				
			概要	間伐材集積のため木材ストックヤードを設け、補助事業者が個人有林及び機関造林地で発生する間伐材を購入する費用への補助を行った。				
			成果	個人所有林からの間伐材搬出を含め、1,478㎡が搬入され、森林整備と木材利用が図られた。				
		林業振興係	問題	製品加工や販路拡大を進め、自立運営が可能となるシステムの構築が必要				
			対策	間伐材の製品利用拡大に繋がる販路確保が必要				
			事業費	4,434	4,434	0	0	0
04	林産業人材支援事業	農林課	目的	林産業の将来を担う人材の育成を支援することで、林産業の後継者確保と経営の強化向上を図る。				
			概要	新規雇用を行う林産業者に人材育成経費の一部を支援する。				
			成果	林産業関連事業体で新規雇用が図られた。				
		林業振興係	問題	民間企業の業績と雇用は関連するため、林業の成長産業としての魅力を高めていく。				
			対策	単一企業での成長ではなく、町内関連企業が連携して人材育成を進める。				
			事業費	1,200	1,200	3,600	3,600	3,600
05	県営事業負担金(林道開設)	農林課	目的	森林が有する、多面的機能の維持・増進を図るため、生活環境の改善にも資する骨格的な林道及び林業専用道の整備を図る。				
			概要	旧独立行政法人緑資源機構が整備してきた緑資源幹線林道の計画区間を引き継ぎ整備を行うための町負担金及び森林施業のための道である林業専用道整備事業による負担金				
			成果	森林が有する、国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、公衆の保健、地球温暖化の防止、林産物の供給等の多面的機能の維持・増進が図られた。				
		農林土木係	問題	国費及び県費の予算の確保が困難のことから、事業期間内での完了が困難なこと。				
			対策	県当局に引き続き事業継続の要望を行う。				
			事業費	11,280	11,280	25,230	25,230	43,230
06	グリーンワーカー育成事業	農林課	目的	森林組合の将来を担う人材の育成を支援する。また、森林整備に興味のある人の掘り起こしを行う。				
			概要	新たに雇用了職員の人材育成経費の一部を支援する。また、森林整備の講座の運営を支援する。				
			成果	森林組合の作業員の技術取得を図るなど、人材育成が図られた。				
		林業振興係	問題	森林組合作業員の継続雇用ができる体制づくりが必要。				
			対策	森林整備事業の計画的な実施により、作業量を確保するとともに、素材生産量の拡大を進める。				
			事業費	12,000	12,000	0	0	0
07	林業用施設災害復旧工事	農林課	目的	平成27年度の関東・東北豪雨災害及び平成29年度の台風21号により被災した林道の早期復旧を図る。				
			概要	平成27年度の関東・東北豪雨災害により被災した林道14路線29箇所のうち2路線4箇所、また平成29年度の現年災として1路線1か所を繰越免許により実施し林道施設の災害復旧に努める。				
			成果	早期復旧を図ることにより、森林の適正な整備・保全を図るとともに、効率的かつ安定的な林業経営の確保、森林の総合利用の促進、山村の生活環境の改善、地域産業の振興が図られた。				
		農林土木係	問題	特になし				
			対策					
			事業費	55,682	529	0	0	0
08	森林環境保全直接支援事業	農林課	目的	間伐や保育・造林等による森林整備を行うことで、森林の持つ多面的・公益的機能の維持向上を図る。				
			概要	植栽、雪起こし、下刈、除伐・間伐等による森林の整備を行う。				
			成果	間伐や保育の造林事業を行ったことにより、森林の多面的・公益的機能の維持向上と豊かな森林を次世代に継承していくための環境整備が図られた。				
		林政係	問題	事業量が県補助金の配分に左右され、枝打ち、除伐の事業量が少ない。				
			対策	健全な森林の育成に必要な整備を把握する。また、森林整備費の確保を継続的に要望する。				
			事業費	23,324	10,424	25,959	13,329	25,000

09	県単林道事業	農林課・館岩総合支所振興課	目的	林道矢竹阿多根線の落石対策の検証を実施することにより、落石防止及び交通の安全確保を図る。					
			概要	L=82mの落石対策の検証を実施する。					
			成果	落石対策の検証実施により、令和元年より実施する落石対策が図られた。					
		農林土木係・農林建設係	問題	特になし					
			対策						
事業費	7,011	3,557	0	0	0	0			
10	町産材使用新築住宅等支援事業	農林課	目的	町内に建築される木造住宅に対し町産木製品の使用量に応じて補助金を交付し、町産木材の利用拡大を図る。					
			概要	町産木材の使用量に応じた補助(50~150万円)。薪ストーブ嵩上げ補助(50万円)					
			成果	町産木材の利用拡大により町内関係事業者の活性化を狙います。					
		林業振興係	問題	実行財源の確保					
			対策	事業成果の検証及び安定した財源の模索。					
			事業費	14,900	14,900	12,000	12,000	20,000	20,000
11	林業成長産業化モデル事業	農林課	目的	林業の成長産業化に向けた地域構想に基づき、目的達成のため各種プロジェクトを実施し林業振興を図る。					
			概要	目的達成のため11の重点プロジェクトを平成29年度から5年間実施します。					
			成果	令和3年度に「素材生産量43,000m ³ /年」「森林認証林面積:10,000ha」「林業関係従事者数:300人」を目指します。					
		林業振興係	問題	目的達成に必要な現状を踏まえた対策の構築。					
			対策	業界及び専門団体を構成員とした林業成長産業化推進会議での検討、事業化					
			事業費	15,573	5,457	25,124	9,475	155,460	65,012
12	林道舗装工事	農林課	目的	林道富貴沢線の舗装工事を実施することにより、通行車両の走行性の向上や維持管理費用の軽減を図り、また地域産業の振興、農山村地域の生活環境の改善や林業従事者の就労環境の改善を図る。					
			概要	林道富貴沢線の舗装工事を実施する。					
			成果	森林の適正な整備・保全、効率的かつ安定的な林業経営の確保、森林の総合利用の促進、山村の生活環境の改善、地域産業の振興及び維持管理の軽減が図られた。					
		農林土木係	問題	予算の確保					
			対策	維持管理費の軽減のための予算の確保					
			事業費	9,993	9,993	5,000	5,000	0	0
13			目的						
			概要						
			成果						
			問題						
			対策						
			事業費						
事業費(一般財源)の合計(千円)			210,238	74,854	123,217	70,163	308,142	152,842	